学校番号	２１２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)芸術表現・音楽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作教材プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

諸外国の作曲家、様々な時代、団体の作品比較、鑑賞、独奏、アンサンブル（器楽・声楽）、創作等、幅広い創造・表現活動を行います。得意・不得意に関係なく、意欲的な態度で授業に臨んで下さい。積極的に諸活動に取り組むことで、表現や創造することの重要性が感じられ、感性が育まれ磨かれていきます。

2　学習の到達目標

創造的な表現および鑑賞の活動を通じて、生涯にわたり芸術（音楽）を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造してゆく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	歌唱	発声・ソルフェージュ 独唱（日本の歌） 日本歌曲の鑑賞、比較 アンサンブル（声楽）	a: 無理のない発声（頭声・胸声等）ができたか b: 歌詞と音楽の関係について考察し、印象をクラスメイトと互いに理解しあい共有できたか。 c: 練習に能動的に取り組み、実技の習得ができたか。	指導中の観察	実技テスト	観察 練習表の提出 テスト自己評価提出

	楽器演奏	独奏(リコーダー、ギター、キーボード、三線、打楽器) アンサンブル(楽器)	a:演奏に必要な基礎的な演奏技術が習得できているか b: グループで創意工夫をした音楽表現が出来ているか。 c:アンサンブルの練習に積極的に取り組み、自分の役割が果たせたか。	実技テスト(独奏)	グループ発表	練習表の提出 自己評価の提出
二学期	鑑賞・音楽理論	ミュージカルの鑑賞 楽曲の和音進行分析 グループによる楽曲分析の発表	a:和音と和音進行の理論が理解できているか b: ミュージカルの内容と、登場人物の個性を把握して、音楽の魅力をレポートにまとめられたか c:和音進行分析のグループによる発表に積極的に意見を出し参加できたか	理論のプリント提出	レポート提出	グループ発表の観察
	歌唱・楽器演奏	アンサンブル（声楽） アンサンブル（リコーダー、ギター、キーボード、打楽器） 音楽発表会	a:お互いの声を聴きあって、リズムや和音をしっかり構成できているか。 b: グループで創意工夫をした音楽表現が出来ているか。 c: 音楽発表会に向け、練習に能動的に取り組み、実技の習得ができたか。	実技テスト	グループ発表	音楽発表会の観察（役割分担、進行）
三学期	歌唱	合唱(卒業の歌、校歌)	a:発声技術の上に歌詞表現がなされているか b:歌詞の意味や曲の主張を表現できているか c:卒業式に向けて、しっかり歌えるように練習に取り組んだか。	観察	レポート	練習表の提出
	楽器演奏	独奏試験	a:選んだ楽器の演奏技術が向上しているか b:曲に見合った表現ができているか c:練習に真摯に取り組んだか	実技テストの観察	曲の表現目標をあらかじめ提出	練習表提出 自己評価提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度